

美馬市版「人口ビジョン」「総合戦略」の骨子

「美馬市人口ビジョン」骨子

1 人口の現状分析

【人口減少が深刻化】

- ・総人口(国勢調査)は1950年以降一貫して減少
- ・生産年齢人口と年少人口の減少と老年人口の増加傾向(1990年に老年人口が年少人口を上回る)
- ・15～24歳の純移動の減少幅が大きい
- ・本市よりも西部からの転入超過、東部への転出超過傾向

【このまま推移すれば】

- ・2040年には2万人まで減少と推計
- ・2025年以降老年人口も減少局面に
- ・地域経済の縮小や、集落の維持が困難になるなど深刻な懸念

2 人口の将来展望

①目指すべき将来の方向

～ 市内外の各世代に「**選ばれるまち**」を目指す ～
 =「**四国のまほろば 美馬市**」

- ①若い世代の転出超過抑制や、中・高齢層のふるさと回帰など、新たな「ひと」の流れができる
 - ・若い世代の転出機会(進学、就職、結婚)をターゲットにした転出抑制や、子育て世代に選ばれる教育環境の充実による転入促進、中・高齢層のUターン促進などを通じて、あらゆる世代で本市への新たな「ひと」の流れが生まれる。 ⇒**社会減の抑制**
- ②若い世代が将来に希望を持てるようになり、結婚・出産・子育ての環境が整えば出生率が向上する
 - ・安定した雇用の確保をはじめ、若い世代が将来に希望を持ち、安心して家庭を築くことのできる地域社会を実現することで、出産や子育ての希望がかなえられる。 ⇒**自然減の抑制**
- ③若い世代が地域に定着すると、地域経済が活性化し、好循環が生まれる
 - ・若い世代が地域に定着すると経済活動が活性化され、新たな雇用の創出につながるなど、地域経済の好循環につながる。 ⇒**地域経済の活性化**

①②③全てに通じるのが「**雇用**」や「**所得**」

②人口の将来展望

【国「長期ビジョン」の目標設定】

- ◆2060年に1億人程度の人口を確保
- ⇒出生率の上昇による(2030年:1.8→2040年:2.07)
- ⇒長期的には総人口9000万人程度で安定的に推移

【徳島県「人口ビジョン」の目標設定(素案)】

人口減少のスピードに歯止めをかけ、
 2060年に60～65万人超を確保する。

【美馬市「人口ビジョン」の目標設定】

**社会減、自然減ともに抑制され、
 2060年に●万人程度を確保する。(策定中)**

「美馬市まち・ひと・しごと創生総合戦略」骨子 〈2015～2019年度〉

1 基本目標と基本的方向 ※ 具体的な数値目標は引き続き検討

「しごと」と「ひと」の好循環

【基本目標①】

本市にしごとをつくり、雇用の創出や所得の増加を実現する
 農・林業の付加価値向上や「医療・健康」産業等の集積を通じて雇用の創出や所得の増加を図り、若い世代が定着できる条件を整備する。

【基本目標②】

本市への新しいひとの流れをつくる

ライフステージに対応したきめ細かな施策を展開し、若い世代の転出超過抑制や、中・高齢層のふるさと回帰を促進する。

【基本目標③】

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

若い世代が将来に希望を持ち、安心して家庭を築くことのできる地域社会を実現し、出産・子育てしやすい環境を整える。

【基本目標④】

時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

人口が減少しても住み慣れた地域で安心して暮らすことのできる基盤を確立する。

「まち」が支える

2 具体的な施策(主なもの)

本市にしごとをつくり、雇用の創出や所得の増加を実現する

- 農・林業における付加価値の向上と「儲かる」観光の追求
 - 6次産業化による付加価値の向上と販路開拓支援、農家民泊の受入拡大
 - 脇町・美馬両「道の駅」の連携による周遊型観光の開発
 - うだつの町並み等におけるインバウンド対策
- 竹林等を活用した新産業創出
- 起業・創業や後継者への事業承継支援
 - 廃校校舎や空き店舗のサテライトオフィス・レンタルオフィスとしての活用
- 本市の強みである「医療・健康」「化学」関連産業の集積を促進
 - ～交通結節点としての立地ポテンシャルを活かす～
 - 大塚製薬(株)工場立地の波及効果を高めるための調査研究を実施
 - 関連企業、取引企業の誘致(廃校校舎のレンタルオフィス活用含む)

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 「一歩踏み込んだ」婚活支援の展開
- 妊娠～出産～子育てまでの一貫したサポート体制の確立
 - 特定不妊治療費助成制度の創設
 - 産後ケアシステムの充実
 - 市産材を使った満1歳誕生記念品の贈呈(ウッドスタート)
 - 育児用品購入費補助制度の創設
 - 多子世帯の保育料軽減
 - 多機能型子育て支援センターの設置
 - 放課後児童クラブの全市への展開と利用料の軽減
- 若い世代・女性の雇用や子育てしやすい環境を整える企業を応援
 - 新卒者の雇用や子育てしやすい環境整備に対する支援制度の創設

本市への新しいひとの流れをつくる

- 進学・就職・結婚をターゲットにした転出超過抑制策の展開
 - 市内企業と連携した中学生向けキャリア教育の展開
 - 地元就職する中・高生、市外進学者のUターン就職への支援制度の創設
 - 新婚家庭への定住支援制度の創設
- 30代・40代の移住・定住促進
 - 空き家情報の提供など移住・交流の推進
 - 市外の子育て世代に「選んでもらう」ための子育て・教育環境の充実
- 転出された方との「つながり」を維持する取組
 - 「近畿美馬市ふるさと会」との連携強化
 - 同窓会を通じた「みまふるさとファン倶楽部(仮称)」の会員獲得
- 本市にゆかりのある高齢者の受入
 - 「日本版CCRC」の展開

時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

- 校区を単位とする集落ネットワークの構築と『小さな拠点』の整備
 - 小学校区(旧校区を含む)を単位とする集落ネットワーク圏の構築(「校区まちづくり協議会」の立ち上げ等)
 - 廃校校舎等既存施設の一部を活用した『小さな拠点』の整備
- 地域交流センター(パルシー)を中心とした美馬市版「コンパクトシティ」構想
- 農産物の集出荷と買い物支援の全市への展開
- 認知症対策など健康・長寿の実現に向けた取組を充実
- 「まほろばクリーン作戦」など市民のボランティア活動を支援
- 「公共施設等総合管理計画」の策定と市有財産の有効活用